

## ③その他の取組について

現在、心のバリアフリーに関する研修プログラムの取組みは様々に行われているが、以下について、どのような取組み内容であるかを整理した。

研修名（実施主体等）	プログラム構成		プログラム検討にあたっての考慮事項		
	構成	体験コンテンツ	対象	当事者参画	運用方法
①サービス介助士研修プログラム（公益財団法人日本ケアフィット共育機構）	<b>①サービス介助士</b> ・テキスト/テストでの事前学習 ・実技実習（2日） <b>②サービス介助基礎検定</b> ・2時間 実技体験がメインの検定（座学+実技体験+検定）	・ディスカッション ・高齢者疑似体験 ・障害者の介助方法 ・実技チェック ・ロールプレイ	・どなたでも（個人・企業・自治体・団体・学生） ・企業のサービスに応じた研修内容のカスタマイズ	・参画したその人のイメージが固定概念となってしまう恐れがあるため、講師としての登壇はないが、映像で障害当事者のインタビュー・生活の紹介。受講者には障がいのある方も受講している。	・知識習得は事前学習とし、研修はコミュニケーションの取り方に重点を置く。 ・専門講師の育成 ・試験対策講座はWebで配信 ・フォローアップ講座を設置
②交通サポートマネージャー研修（公益社団法人交通エコロジーモビリティ財団）	・座学と実技を交えたプログラム（2日）	・グループディスカッション ・実技演習 ・気づきのトレーニング	・交通事業者の現場職員	・グループディスカッション、実技演習講師としての参画	・有識者の講師登用 ・実車での実技演習 ・入門レベルではWeb版も導入。 ・上級プログラムを設置

研修名（実施主体等）	プログラム構成		プログラム検討にあたっての考慮事項		
	構成	体験コンテンツ	対象	当事者参画	運用方法
障 害 平 等 研 修 （ DET Forum (NPO 法人障害平等研修フォーラム))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会モデルの視点の獲得（1.5 時間）</li> <li>・ 合理的配慮のため同型性（1.5 時間）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者との対話</li> <li>・ 視覚教材</li> <li>・ グループワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業、団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害当事者のファシリテーター登用</li> <li>・ ファシリテーター養成講座を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークショップ形式での研修</li> </ul>
あいサポーター研修(鳥取県・鳥取県立福祉人材研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的、趣旨等の説明（15 分）</li> <li>・ 障害への理解（DVD 視聴）（50 分）</li> <li>・ 手話講座（10 分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接し方に関する動画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業、団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動画による当事者の特性やニーズの紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVD 視聴</li> </ul>
明日チャレアカデミー(日本財団パラリンピックサポートセンター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害理解の基礎講座（30 分）</li> <li>・ 体験型プログラム（40 分）</li> <li>・ グループワークによる実践演習（30 分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験型プログラムとして、筆談体験などを検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人、企業、団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師は障害当事者</li> <li>・ 100 名の講師を育成していくことを目標としている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本ユニバーサルマナー協会が運営している。</li> <li>・ パラスポーツの迫力を映像を使用して伝えている。</li> </ul>
ユニバーサルマナー検定（日本ユニバーサルマナー協会）	3 級：座学＋グループワーク（2 時間） 2 級：座学・グループワーク＋実技研修＋検定試験（4 時間 10 分）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループワーク</li> <li>・ 実技研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人、企業、団体、教育機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師は全員障害当事者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師陣の育成に力を入れている。</li> <li>・ 障害者への「向き合い方」に特化した講習内容</li> </ul>

リオデジャネイロパラリンピックボランティアに向けた研修プログラム	・「接遇におけるマナーに関して１０個ほどのケーススタディ」をクイズ形式で学習（e-learning）		・大会スタッフ・ボランティア		・ e-learning による学習の展開
----------------------------------	--	--	----------------	--	-----------------------